

はっところどもえん えんだより 2021ねん 1がっごう



4歳児(はやぶさ)

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっところども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL: 078-805-3810

FAX: 078-805-3820

携帯: 080-3033-1952

Mail: hat@tanenokai.jp URL: <http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail: tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ 体育あそびについて

体育あそびは、1月8日(金)よりスタートします。

★ 発表会リハーサルの日程をお知らせします。

5歳児・・・1月27日(水)・2月2日(火)

4歳児・・・1月28日(木)・2月1日(月)

3歳児・・・1月26日(火)・2月4日(木)

2歳児・・・1月25日(月)・2月3日(水)

全体リハーサル・・・2月8日(月)

詳細はPOPにてお知らせいたしますので、ご協力お願いいたします。

★マスクについて

1月から、各自のダンスにマスク袋を入れることにしました。マスク袋も新しいものに作り替えましたので、大切にお使いください。今後、破損、紛失したときは、マスク袋をジップロック等でかまいませんのでご家庭で準備してください。その際、キャラクターの袋はご遠慮ください。

★落とし物について

最近、落とし物がたくさんあります。名前のないものや消えているものが多くあり大変、困っています。落とし物は、2週間たつと処分させていただきますので、ご家庭で記名されているか、消えていないかの確認を必ずし、わかりやすいところに書いていただけるようお願いいたします。

★ 緊急連絡先について

保護者の方の連絡先(携帯電話・勤務先など)に変更があった場合、すぐに園へお知らせください。



☆わたしたちの保育実践を様々な方々が観察し評価☆

園長 ^{かたやま} 片山

あけましておめでとうございます。昨年はコロナのせい？おかげ？で良くも悪くも初めてのことにたくさん出会いました。引き続きコロナとしっかりと向き合いながらになりますが、今年も子ども達にとって面白いことや楽しいことが待っている園、期待をもって登園したいと思えるような園にしたいと願っています。

保護者の皆様には、ご協力を頂くこともあるかと思いますが、職員一丸となって子ども1stの理念に向かって、園文化を創りあげていきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

園は、保護者の皆様や地域社会から理解と参画を得ながら、信頼され魅力ある園づくりを進めたい、透明性・開放性を向上し、やっていきたい考えがあります。そのため密にならないような工夫をしながら、先月2回の公開保育を園内で行ないました。

1つは「ECEQ（イーセック）＝公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」という取り組みを、幼児クラスで実施しました。公的な保育教育を担う園として、独自性を大切にしつつ独善に陥らないためにも、一人ひとり職員みんなが自分自身やクラスや園全体の保育を見つめ直すことから始めます。自分（たち）の何が強みなのか逆にどのような点に“のびしろ”があるのか、自己評価し、それぞれの意見を模造紙の上に付箋を貼るようなワークを通じてシェアしていききました。

そのプロセスから、例えば「子どものために思い多様な環境を準備してみたが子ども自身が試してみたい遊びをうまく見つけられないようなとき、保育者はどんなことを考えて何を提供していけばいいのか」や「自分の気持ちを一方的に主張し、思いを受け止めることが難しい子へのサポートをどうしていくか」等の“のびしろ”を「問い」という形式にしました。公開保育参加者らはその「問い」を解決するために観察しますので、着地点が明確になった上で評価してもらい、クラス単位でふりかえりの話し合いをし、検証しました。このような方法は有意義であったと多くの職員が感じています。

もう1つは、「エカーズ＝保育環境評価スケール」という取り組みを乳児クラスで実施しました。これは、空間構成や子どもの展示物などの室内環境面、食事・排泄・保健衛生などの養護面、言葉・自然・音楽や微細運動などの活動面、大人と子ども、子ども同士などの相互関係面、計約30項目からなる指標に基づいて、評価するというものです。それぞれの項目に基準があり、点数をつけてもらうこととなります。「保育に点数をつける」ということに対して、批判的な見方をされることがあります。確かに園文化に合わない、高点数に価値を感じない項目がいくつかありますが、客観的な指標があることで環境構成や保育者の関わりにおいて、とても役立つ面があることも実感します。

保育園や幼稚園で働いている人々と話をすると、自分たちの保育を見られるということ、評価を受けるということに後ろ向きな方々が多いと感じます。保育や教育で起こっていることは、形に残りにくく、実践を可視化させにくいです。だからこそ内部だけに留まらず、外部からの目線に触れて学ぶことも大切であると私たちは思っています。

生活発表会の取り組みについて

副園長兼主幹保育教諭 はら 原

生活発表会の構成は、合唱・合奏・ピアノ（5歳児のみ）・劇となります。昨年度から、映像を用いた演出も入れ、様々な視点から子ども達の成長を感じていただけるようにしています。今年度も、さらに進化した生活発表会にすべく、いろいろな取り組みを実施しており、ここでは、今までやってきたこと、これから挑戦していくことなど、紹介させていただきます。

合唱の選曲では、子ども達の好みや、曲の雰囲気クラスに合うもの、年齢・発達に合わせた音域を考慮して、当日に歌う曲を決めてお稽古をしていきます。年齢によってねらいが変わり、元気な声だが、がなり声にならないような歌い方や、声に抑揚をつけ、観客に届かせるような気持ちで歌う声の出し方を目指していきます。合奏の取り組みでは、先生が奏でている合奏ビデオを観るところから始まります。全体がどのような構成で奏でられているのか、音が重なる心地よさを感じたり、一つひとつの楽器がどのようにリズムを取っているのかを知っていったりします。毎回のことで映像からの導入は、子どもの集中力を上げ、吸収率が高く驚きます。劇では、保育士・看護師・事務職・調理師など様々な職員が、各クラスのチームとなり、劇の大筋づくりや小道具作りをしています。いろいろな人のアイディアを持ち寄り、採用されたりされなかったりしながら何度も話し合い、劇の構成を、面白く、分かりやすく演じやすく作り上げていきます。さらに今年度は、4歳児・5歳児を対象にダンスオブハーツによるミュージカルワークがありました。プロの演者の表情・声の出し方・身体の所作などを直接感じた子ども達が、どのように感化されているのかも楽しみです。劇の構成にも、うまく取り入れることができるように、1月に2回、2月に1回、ダンスオブハーツの方に来てもらい、保育者や子ども達とやりとりしながら進めていく予定です。

1月になり、生活発表会当日に向けて、様々な取り組みが色濃くなります。子ども達一人ひとりが、一つひとつの事を身につけていき、それを友達と合わせたり、掛け合いをしたりする中で、共同する面白さを感じていけるように伝えていきます。そして、お稽古終盤には、いろいろな先生や他のクラスのお友達に披露する機会を作り、「やるのが楽しい」から、徐々に「見てもらうこと」に意識を持てるようにしていきます。自分たちが取り組んでいることの価値を知り、高めていくことで、自己肯定感を育てていきます。また、できたことをたくさん褒められ認められる・子ども達の柔軟な発想を大切にしながら話し合いをし、一緒に作りあげるといった取り組みは非認知能力も刺激し培っていきます。

保育の世界では、「生活発表会は、これまでの積み重ねたものの集大成の場」と言われています。今まで積み重ねた取り組みを基盤にし、当日に向け凝縮されたお稽古の期間が豊かな学びにつながるように、運営理念である『みんなでみんなをみていく園づくり』の体現として、みんなでつくりあげていきます。

また、みんなでみんなをみていく園づくりの「みんなで」の部分には、保護者の皆様も含んでおります。子どもを取り巻くすべての大人が連携し、一緒に悩んだり喜んだり、たくさんやりとりしたりしながら、子ども達の成長を期待する生活発表会の取り組みにしたいと考えています。

くまのたまり



○さい
おひさまぐみ



1月



ふくやま たけなが
福山 竹中

ふじむら やまもと
藤村 山本

- 【ねらい】 寒さや冷たさを感じ、冬の歌や遊びを楽しむ
- 【領域活動】 クレヨン・絵の具・小麦粉粘土・楽器・園庭遊び・散歩
- 【わらべうた】 ♪おしくらまんじゅう ♪だんごだんご ♪りんごのき
- 【うた】 ♪ゆき ♪こんこんくしゃん ♪豆まき
- 【食育】 白菜（みずみずしさを感じたり、ちぎったりする）

友達と

朝のお集りでは、毎日出席確認でお名前を呼んでいます。みんながみんなの名前に手を挙げていた時もありましたが、最近では自分の名前だけに手を挙げるようになってきました。名前を呼んだ時にいないお友達がいると、キョロキョロと探す姿も出てきており、お友達の実在・名前をよく理解しているなと感じています。

また、自分の物・お友達の物の区別もつくようになり、「お外行くよ」と声をかけると、お友達の靴下や帽子を渡してあげる姿も出てきました。渡された自分の物にっこり受け取る子や、自分でしたかった！と怒る子など、様々な反応を見せてくれ、個々の成長を感じる一場面でもあります。これからも、子ども同士の関わりを多く持てるように、保育者が工夫しながら進めています。

おもちゃ

おひさまの部屋には、微細遊びと言われるおもちゃをいくつか用意しています。パズルや積み木、ポットン落とし（タッパーにホースやチェーンなどを落とすもの）・マジックテープを着脱するものなどがあります。指先や手を使うことで、脳の発達を促したり、五感を刺激したりします。目の動きに手の動きを合わせることが、これからはさみを使ったり文字を書いたり、球技をしたりなど様々な事に繋がっていきます。

日々の遊びの中で、楽しみながら取り組める環境をこれからも提供していきます。



1月






















1さい

おひさまくみ

ふくやま 福山 たけなか 竹中

ふじむら 藤村 やまもと 山本

												
	【ねらい】		戸外遊びで身体を動かし、冬の寒さを感じる。									
	【領域活動】		小麦粉粘土・絵の具（指）・散歩・園庭遊び									
	【わらべうた】		♪おしくらまんじゅう ♪だんごだんご ♪りんごの木									
	【うた】		♪ゆき ♪こんこんくしゃん ♪豆まき									
	【食育】		白菜									
												

絵の具を混ぜたよ

赤色と黄色の絵の具を使って遊びをしました。子ども達は、「赤!」「黄色!」と声に出しながら、紙の上で色を広げることや色の変化を楽しんでいました。初めは、「なんだろう?」といった感じで触ってみる子や、いきなり豪快に手のひらを使って絵の具をのばしていく子など、様々な姿が見られました。

前回の8月にした時より、言葉が増え、色を意識している姿に成長を感じました。また、途中で「ぺったん」と言いながら手形をつけることができるようにしました。自分の紙に手形がつくと嬉しそうな表情をし、何度も何度もつける姿もみられました。子ども達の手形はクリスマスツリーの飾りに変身し、かわいらしい壁面となりました。

感触遊び

フラワー紙を使った感触遊びを行ないました。手でくしゃくしゃに丸めてみたり、お友達同士で引っ張ってみたり、穴を開けてみたりして指先を使って遊びました。色とりどりのフラワー紙を見て、「きれい!」という姿もありました。水に入れると感触が変化することを楽しみ、水との感触を不思議そうにしていました。

1月は小麦粉を使った感触遊びを行なう予定です。粉の状態から一緒に粘土を作っていきます。





2さい
なぎさぐみ

おかの 岡野 おおしま 大嶋 きさい 笹井



- 【テーマ】 ～動物になって遊ぼう～ ～冬をみつけよう～
- 【活動】 ～劇遊び～ ～お正月遊び（凧あげ）～
- 【わらべうた】 ♪もちっこやいて ♪おしくらまんじゅう
- 【うた】 ♪ゆき ♪まめまき ♪劇遊びの歌
- 【食育】 冬野菜を食べよう！



なぎさツリー

12月はクリスマスツリーを作りました。絵の具・はさみ・のりを使うという工程を2グループに分かれて、3日間ずつかけて作り上げました。赤・黄・青の3色の絵の具を使って手形を取り、ツリーの土台になる木をみんなで作りました。絵の具の感触や色の変化を楽しみながら、大きな紙に自由に手形をつけて大胆に遊びことができました。初めてのはさみの活動で、興味津々の子ども達。はさみの不思議さ、持ち方や動かし方、そして、使い方を間違えると危ない事などを伝えました。ドキドキしながらはさみを持ち、切れた時には少しびっくりしたり、嬉しそうにしたりする表情を見せてくれました。1回切りが出来る程度の細長い紙を用意したのですが、ちょきんと切る子、最後まで切れず引きちぎる子、タコの足のようになんか切れ目ができる子など様々でした。次々に紙を取り、夢中になって切っていく様子が見られました。初めての事を経験し、発見していく姿はとても素敵だなと、あらためて感じました。切った紙はのりをつけてツリーに貼り付け、一人ひとり違う個性的な仕上がりになりました。出来上がったツリーを壁に飾りつけると、自分たちが作った事を友達同士でアピールしていました。なぎさ組のみんなで、ひとつの作品「なぎさツリー」を作る事が出来ました。

幼児に向けて



3月から幼児に移行します。急に变化して子ども達が不安にならないように、少しずつではありますが、今からいろいろな事を経験してもらおうと思っています。

給食では、時間になったら幼児がお部屋に迎えに来てくれます。ランチルームまで連れて行って座る場所を案内し、食事を運んでくれます。初めは、緊張している様子が見られましたが、優しく接してもらい安心していました。お部屋に帰ってくると「ランチルーム行って食べられたよ。」「楽しかった！」と嬉しそうに話しています。

また机上コーナーの貸し出しボードもそのひとつで、遊びたい玩具を自分で選び遊んだ後は返却しています。1月からは、園に来たら自分のマークを「家→園」帰る時には「園→家」というように移動してもらおうと思っています。保護者の方にもご協力して頂く事になりますが、どうぞよろしくお願い致します。



なかに ひらくり
中谷・平栗

- 【テーマ】 お正月遊びをしよう
- 【製作】 凧を作って遊ぼう 雪だるま作り
- 【うた】 ♪ゆき ♪ゆきのこぼうず ♪ゆげのあさ
- 【リズム】 4つの楽器を使って合奏
(タンブリン・すず・カスタネット・トライアングル)
- 【劇遊び】 表現遊び(3匹の子ぶた・大きなかぶ)
- 【栽培】 冬野菜の水やり
- 【異年齢活動】 フリーデー



先月の様子

～クリスマスケーキを作ったよ～

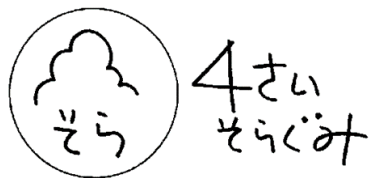
クッキングでクリスマスケーキを作りました。ホットケーキを3段に重ね、その上に生クリームや星形の飾りでデコレーションをしました。グループのお友達と力を合わせて作る姿がとても印象的でした。クリスマスの曲が流れると、みんなで踊り始める可愛い姿もありました。また、小麦粉粘土を使って製作もしました。小麦粉にお水とバニラエッセンスを入れてこねるとケーキに大変身。「クッキーの匂いがする！」と何度も匂う子ども達、○や△の好きな形にして、きらきらの飾りをのせました。出来上がったケーキを飾ると毎日眺めに行く姿がありました♪



～劇遊び「3匹の子ぶた・大きなかぶ」～

発表会に向けて、劇遊びに取り組みました。3匹の子ぶたでは、オオカミ役の保育者に捕まらないように逃げたり、遊びの中で「おうちにいーれーて」「いーやーよ」と台詞のやりとりを楽しんだりしました。また、お話に出てくる藁に触れ、積み木やカプラを使ってお家造りにも取り組みました。大きなかぶでは、かぶになる人と抜く人に分かれ「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声とともにゲーム遊びを楽しみました。そして、育てていたかぶを収穫し、給食で美味しく頂きました。





いずみ ぶんか
和泉・福岡

【テーマ】	伝承あそび
【絵画・制作】	筆ペンを使ってカルタ作り
【折り紙】	2021年の干支『牛』
【うた・リズム】	♪北風小僧の寒太郎 ♪あしたははれる
【楽器遊び】	自分の好きな楽器をマスターしよう
【劇あそび】	さるかにがっせん
【自然】	玉ねぎとそら豆の成長を見てみよう

【楽器遊び】 いろいろな楽器に触れてリズム遊び

発表会に向けて色々な楽器に親しみを持ってもらえるように、リズム遊びをしました。普段から親しみのあるタンブリンやカスタネット、鈴だけではなく、綺麗な音色のトライアングル、大きくて低い音の大太鼓、派手な音色のシンバルなど、発表会で使う楽器も用いました。初めて使う楽器が出てくると、大きな音に驚いたり、耳をふさいだりしながらも笑顔で「やってみたい！」と、興味津々で取り組んでいました。色々な楽器に触れる中で「発表会でシンバルをしたい！」「タンブリンがいいな」と、もうすでに自分の好きな楽器を見つける姿もありました。自分の楽器のリズムや特徴を知り、自信を持って演奏できるように取り組んでいきたいと思っています。

【絵画】 フォークを使ってクリスマスツリーを描こう

クリスマスツリーに使われる、もみの木らしい「とげとげ」を表現するために、筆ではなく、フォークを使って絵画をしました。絵本『いろいろクリスマスツリー』を見て、お話に出てくる色とりどりの個性豊かなツリーにみんな目をキラキラさせて、イメージを膨らませていました。「お魚のツリーにしようかな」「鳥さんのツリーがいいな！」とそれぞれ考えていました。白い紙の上に好きな色の絵の具を2色一直線に出して、その絵の具をフォークで引っ掻いていくと、「ツリーになってきた！」とみんな大興奮。飾りつけに型抜きやビーズ、綿で彩ると、そら組一人ひとりの個性豊かなツリーがやまの部屋をクリスマスカラーにしてくれました。





5さい
かもめぐみ

澤根

1月

【テーマ】	冬
【絵画・造形】	筆で書き初め
【うた】	♪発表会のうた ♪ゆき ♪鬼のパンツ ♪まめまき
【ピアノ・楽器】	ピアノ・発表会の楽器あそび
【発表会】	役の気持ちや場面をイメージし、劇遊びをする
【食育】	味噌鍋（グループで具材を決める）
【農育】	切り干し大根作り
【ダンスオブハーツ】	外部講師による指導

クリスマスオーナメント

クリスマスオーナメントを作りました。どんぐりとまつぼっくり、四角、長方形、三角の段ボールの台紙、毛糸・綿・サンタの形の Pasta などいろいろな材料を用意しました。

三角のダンボールを選び、緑の毛糸をぐるぐるに巻き付けて「これはツリーの木にするね」と細かい作業に取り組む子や「ツリーだから、飾り付けをしないとね」と毛糸やどんぐりや綿を付けている子がいました。また、四角のダンボールを選び「これはクリスマスプレゼントの箱だよ」と箱に見立てて、リボンやどんぐりで飾り付けをしていると、周りの友達も「それいいね！私は、ピンクのリボンにしようかな」「リボンで上に飾り付けをしたらいいんじゃない？」と子ども同士で会話しながら盛り上がる姿もありました。まつぼっくり自体をツリーにしている子や、クリスマスカラーを意識する子もおり、いろいろな工夫を感じました。完成した作品は、子ども達のアイデアが満載で、その子の個性を感じる事ができ、自分でイメージを膨らませて、いろいろな物を組み合わせて再現できる所が5歳児らしいなと感じました。



げきあそび



発表会で「じごくのそうべえ」の劇をします。「そうべえという主人公はどんな人だと思う？」と登場人物についての話をし、子ども達とウェブを作りました。また、「軽業師」ってどんな仕事なのだろう？と YouTube を調べてみると「わーバランスがいい」「かっこいい」などつぶやく姿がありました。「どんな地獄があったらみんなは面白いと思う？」という話をし、盛り上がりました。これから発表会に向けて、子ども達と一緒にイメージ作りをし、表現する楽しさを感じていけたらと思います。

つりのせいせい

のうそう
能宗

伝承遊び・昔あそび

新年、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

お正月休みは、お家でどのような遊びをしていましたか？子ども達から話を聞くのがとても楽しみです。

幼児クラスの机上コーナーには、現在、あやとり・コマ・カルタ・すごろくなどがありますが、福笑いや凧などお正月のあそびを準備し、子ども達と楽しもうと思えます。また、かごめかごめ・あぶくたった・はないちもんめ・なべなべそこぬけ・だるまさんがころんだなど、体を動かして遊べるものも、子ども達にどんどん伝えていきます。

先日子ども達と、“はないちもんめ”をして遊びました。「か～ってうれしい はないちもんめ♪」のフレーズも懐かしいですね。「どの子が欲しい？」と、同じ仲間のお友だちとコショコショ相談したり、「きーまった！」とみんなで声を合わせて言ったり、最後にじゃんけんで負けた子がどのように来るかも「うさぎさんでおいで（ピョンピョン跳ねる）」「鳥さんでおいで（飛ぶマネ）」「ワニさんでおいで（手をガブガブ動かす）」などと、子ども達ならではの発想で楽しんでいました。

子ども達にとっては新鮮だったのか、その日は大人が思った以上に熱中し、長時間その遊びで盛り上がっていました。

伝承遊びといわれる遊びは、複数人で遊ぶものが多いため、お友達とのコミュニケーションが増えるというメリットがあります。遊びの中でチームワークを身につけたり、他者への理解や社会的ルールを学んだりします。時には子ども同士が衝突し合う場面もありますが、そのような体験も、子どもの成長には欠かせないものです。

スマホやタブレットなど便利になった世の中ですが、遊びを通して子ども同士が関わり合いながら、子ども達の生きる力を培ってほしいなと願っています。

まだまだ寒さが厳しくなるので、子どもと一緒に身体を動かしながら、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。



台所の先生から



いわぶち こんどう
岩淵・近藤

◆ 行事食の紹介 ◆

冬はクリスマスや年越し、お正月などの行事があり、食卓にはさまざまな料理が並びます。今回はお正月をテーマにお雑煮と七草粥について紹介します。

～伝統的で地方色豊かなお雑煮～

お餅は昔からお祝いごとや特別な日に食べられており、新年の豊作や健康でいられることを願い、お正月にお雑煮を食べていました。お雑煮は日本全国さまざまなものがあります。東日本では角餅、西日本では丸餅を主に使う傾向があります。また、お汁の味付けは関西地方では白味噌仕立て、東日本と近畿を除く西日本では澄まし汁が多いそうです。中には白味噌仕立てのお汁にあんころ餅が入っていたり、ぜんざいにしたり、きな粉餅にして食べたり、焼いたお餅を入れたりするなど地域や家庭によっていろいろな食べ方があるようです。



～1月7日は七草粥の日～



七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれています。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのです。七草はいわば日本のハーブ、そのハーブを胃腸に負担がかからないお粥で食べるものなので、正月疲れが出始めた胃腸の回復にもいいとされています。今年度は7日のおやつで子ども達に七草粥を提供します。

七草粥に入れる7種類の若葉



春の七草





ほけんだより

看護師 ならき 榎木

新年を迎え、今年も未来の宝である子ども達の健康と更なる成長、全てのご家族にとって良い1年になりますようお願いしています。日常生活では、子ども達の成長に合わせて、危険も背中合わせです。この時期になると毎年1,000人の乳幼児が、窒息や誤飲により救急車で運ばれています。今一度身の回りの危険を子どもの目線で確認して置きましょう。

乳幼児窒息、誤飲で上位になったもの（東京消防庁管内）

	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	包み、袋 (81人)	その他の玩具 (56人)	タバコ (51人)	電池 (11人)	洗剤等 (10人)
1歳	タバコ (47人)	薬剤等 (33人)	その他の玩具 (29人)	電池 (22人)	野菜、果物 (13人)
2歳	薬剤等 (24人)	その他の玩具 (16人)	魚等の骨 (15人)	飴玉類 (11人)	硬貨 (10人)
3～5歳	その他の玩具 (37人)	飴玉類 (34人)	ビー玉類 (20人)	魚等の骨 (19人)	薬剤等 (16人)

<飲み込んで危険度が高い物>

電池： 飲み込んで胃に入れば、それほど危険性は高くないが、食道にとどまると、食道の粘膜がただれ、中には、大動脈に穴が開いて死亡することもあります。

灯油、キャンドルのオイル： 灯油の蒸気が気管に入り、肺炎を起こします。

<窒息時の応急手当>

<注意>



咳があれば少しは呼吸が
できているので咳に
合わせて背部をたたく。

(背中を強く叩く) 1歳未満



異物を指で取ろうとすると逆
に押し込んでしまったりする
ので指を入れない。

(胸部突き上げ法) 1歳以上

- ・異物が取れるか、反応がなくなるまで繰り返す。
- ・反応がなくなったらただちに心肺蘇生を開始する。(胸部圧迫を強く早く30回)
- ・人工呼吸(入らなくても2回まで)口の中の異物が見えたら取り除く。
- ・救急車を呼んでも到着まで時間要するので、到着まで心肺蘇生を続けて下さい。(不安な時は119番に電話するとやり方を指示してくれます。

ウェルネス 体育遊び

難波

12月の体育遊びでは、5歳児クラスは、子ども達が考えた動きでサーキットを組んで実施するなどの取り組みも交えながら、活動を行ないました。4歳児クラスは技能面にもチャレンジしながら活動を進めています。3歳児クラスにおいては、徐々に複合動作（〇〇しながら〇〇するなどの2つ以上の動作）を多くとり入れながら行なっております。

【1月の取り組みとねらい】

サーキット運動

〇3歳児クラス

U型サーキット

- これまで積み重ねてきた基本動作（跳ぶ・渡る・ぶらさがるなど）をより確かなものにする。
- 〇〇しながら〇〇する。というように、1つの動きで2つの動作を同時に行ないまとめる。

〇4歳児クラス

U型サーキット

- ひとつひとつの動作を正確に行ない、勢いをつけるところ、勢いを抑えるところなど、動作によって区別をしながらこなしていく。
- 〇〇から〇〇して〇〇する。というように、1つの動作に3つ以上の動きを同時に行なう動きへの取り組み。

〇5歳児クラス

U型サーキット

- 〇〇から〇〇して〇〇する。というように、1つの動作に3つ以上の動きを同時に行なう動きを確かなものにする。
- 上肢は〇〇しながら、下肢は〇〇して〇〇するなど、上肢と下肢を同時に行なう動きを確かなものにする。

ポイント指導

• 3歳児クラス

- 鉄棒「足ぬき回り尻上がり」
- マット「でんぐりがえり」⇒回転力を生み、起き上がりまで行なう。
- 跳び箱「台上から開脚乗り」台上からジャンプして腕支持ののち開脚で乗る。

• 4歳児クラス

- 跳び箱「助走から開脚跳びこし」⇒踏み切り板を両足を揃えて踏み切る。
- 鉄棒「腕支持前回りおり」⇒跳びつきから腕支持の姿勢をつくり前に回る。
「坂付き逆上がり」⇒逆さ感覚を身につけながら、蹴り上げを行なう。

• 5歳児クラス

- マット「側転」⇒足を振り上げる中で、手のつき方、向きの替え方などを確かにする。
台を使わずに行なう。
- 跳び箱「開脚とび」⇒着地までの力のコントロールを行いながら着地まで行なう。
- 鉄棒「逆上がり」⇒蹴り上げと、ひきつけのタイミングを確かにする。
起き上がりの時に、背中を丸めて腕支持まで行なう。